

母と子の公民館活動

「野の会」・「里の会」

今月六日「里の会」で紙鉄砲作りを行いました。この日参加した十人の子供たちはふだん持ち慣れない小刀を使いながら昔なつかしい紙鉄砲を作っていました。

真中公民館では、昭和五十九年度から「母と子の公民館活動」として、野の草花を観察する「野の会」と、昔の遊びにふれあう「里の会」を開催しています。そのほかにもこの事業の一環として図書の整備も行われ、親子の読書活動も盛んに行われています。

野の会では、田代岳への登山や大館少年自然の家での宿泊研修、市民の森へのサイクリングをしながらの自然観察を行ってきました。

また、里の会では、地区老人クラブ員の指導のもと紙飛行機作りや正月用のたこ作り、昔なつかしい



▶少年自然の家での観察会

お手玉、あやとりなど開催し、高齢者と子供たちの交流を深めています。このほかに、両会合同による室内レクや親子スキー教室を行なうほか、お年寄りたちのゲートボールにも挑戦することです。



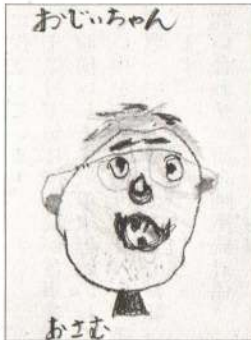
▶おじいさんの指導を受けて紙鉄砲づくり

チビッコギヤラリー

真中保育所



あぶかわともこちゃん
おとうさんといっしょにたいそうしているんだもん。



おじいちゃん



かがやれいちゃん
おこるとこわいけど、やさしいおじいちゃん。



とがしおさむくん
おじいちゃんはいつもおもしろいお話しをしてくれるんだ。



十五年ほど前に昭和十一年生まれから二十二年までに生れた櫃崎地区の人たち十七名でスタートしました。例会は毎月十一日、このことから会の名称が自然と十・一会となったのです。例会日には稲作や畑作についての研修や町内の清掃、用水路のごみ上げ、町内会行事（運動会、盆おどりなど）への協力などバラエティーにとんでいます。

会長の武田一俊さんは「現在では会員の高齢化が進んでいるため、年齢にこだわらず若い人たちにも入会してもらっています。年齢差がありすぎて考え方にズレを生じることもあり、この差をうめるのにひと苦労しています。また、公民館の協力を得て研修会を開いていますが、夜遅

わらわサークル仲間

十・一会

真中公民館の奥にあり、バレーボール、バドミントン、卓球、それに約五百人の集いができる多目的ホールと、ミーティングルーム（和室）2室などがあります。利用される場合は真中公民館へ申し込みください。

ミニ・ガイド

- カントリー・エレベータ
- 二百五十haの水田から約二千ノの米を集め収納しています。これは大館市民の約五カ月分の米消費量に匹敵します。
- 真中公民館
- 真中農林業多目的研修集会所

- 大披鉦山
昭和の初めごろまで、銅などを産出していました。昭和四十六年に閉山された。
- 板沢愛宕神社
板沢の南側に位置しています。また、この神社の下には寺小屋があったといわれています。
- 真中保育所
- 真中地区の農作物
大館市内で一番早く作付けした山芋、ポップ、時期をずらして出荷しているぶどう（スチューベン）、にんにく、大豆、量は少ないが味では天下第一のりんご

くまで話し合うこともしばしばあります。」と話していました。

櫃崎地区には、同会から卒業したグループや会員の奥さんたちで組織するグループなど四団体もあり、町内のため活動しています。



▶用水のごみ上げも十・一会の行事です